



内閣府（防災担当）

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会（第9回） 議事概要について

1. 検討会の概要

日 時：平成29年6月16日（金） 10：00～12：00

場 所：中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室

出席者：佐竹座長、入倉委員、岡村委員、平川委員、平田委員、古村委員、三宅委員

2. 議事概要

事務局から検討状況の説明を行い、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震について審議を行った。概要は、次のとおり。

○津波計算に用いる潮位データについては、50年間程度の最高値を用いる。

○内陸での津波堆積物の浸水深は標高+2～3mとして取り扱う。

○下北半島の津波堆積物について、最新の調査状況を確認し整理する。

○福島県から茨城県にかけての津波堆積物について、最新の調査状況を確認し整理する。

○強震動の推計にあたり、東北地方太平洋沖地震の余震や2003年の十勝沖地震の断層モデルと強震動も参考に比較する必要がある。

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付

調査・企画担当企画官 森本 輝

同参事官補佐 岩村 公太

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-6820